

子ども議会

みんなが住み続けたい 千葉市にするために

～祝！100歳の千葉市にプレゼンテーション～

「みんなが住み続けたい千葉市にするために」をテーマに、小学校5、6年生の子ども議会議員が7グループに分かれ提案や質問を行いました。

子ども議会第11回大会は、千葉市が市制100周年を迎えたことを記念して、「祝！100歳の千葉市にプレゼンテーション」をサブテーマに未来の千葉市について考えました。

今年度は、オンラインによる学習会も取り入れながら、自分たちで調べたことをもとに、ファシリテータ役の中学生の支援を受け、提案や質問を検討しました。

当日は、自分たちの提案や質問を様々な資料を活用し、発表の方法を工夫して伝えることができました。

1 開催の目的

- 本市の将来を担う子どもたちが、本市の現状と課題について話し合い、「市民一人一人がいきいきと幸せに暮らせる街づくり」に向けた具体的な提案や質問を行う中で、千葉市民としての意識を高める。

- 子どもの目線に立った提案や意見を市政に生かす。

2 開催日時 令和3年7月21日（水）9：00～12：00

3 開催場所 千葉市議会本会議場

4 出席者

- （1）子ども議会議員45人（公募による市内の小学5、6年生）
ファシリテータ役市内中学生8人
- （2）市政担当者
神谷市長、鈴木副市長、川口副市長、大野こども未来局長、磯野教育長、宮本教育次長
- （3）市議会議員
川村議長、森山副議長、川合教育未来委員長、中村教育未来副委員長



5 内容

（1）学習会 ～子ども議会開催に向けて～

今年度は、オンラインでの学習会を2回、対面での学習会を1回実施しました。第1回のオンライン学習会では、市長から本市の現状や取組、課題についての話を聞いた後、市長に質問したり、グループで自分の考えを伝えたりしながら、子ども議会で提案する内容を考えました。



＜神谷市長講話「千葉市の現在と未来について」＞



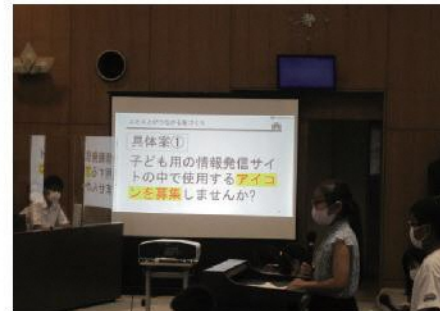
＜神谷市長に質問をする子ども議会議員＞



＜グループで提案内容・発表についての協議＞

（2）子ども議会当日

子ども議会議員はグループごとに、自分たちの思いが伝わるように工夫しながら、提案や質問を行いました。



＜プロジェクターで資料を示して提案＞



＜提案する子ども議会議員＞



＜子ども議会の運営をする中学生のファシリテータ＞



＜市長の答弁を聞く子ども議会議員＞

（3）提案・質問の内容

①「衛生的で災害に強い街づくり」グループ

- ◇太陽光パネル付きの街灯やトイレ、大人が利用できる器具の設置を提案します。
- ◇避難者の受入れの優先順位の整備と防災無線の外国語対応、それらについて周知することを提案します。



- 太陽光パネルを使ったトイレ整備は、災害時にも有効に使えます。特に防災公園や広域避難所に指定されている公園などから優先的に様々な工夫をして整備できるように、しっかりと参考させていただきたいと思います。身近な公園で高齢者の方が利用できるよう健康遊具については、地域の皆さんの声を聴きながら整備をしていく計画がありますので、皆さんのご提案を受けて、計画に沿って進めていきたいと思っています。
- 千葉市では、避難所の環境を良くするために、一か所に避難する方を集中させるのではなくて、分散する形で避難所の運営を進めています。災害の種類によって皆さんがどこに避難するのかを事前に決めておくことで分散避難ができ、災害の時に円滑に避難ができると思います。また、日本語に不慣れな外国人に、必要な情報を早く確実にお伝えすることは重要な課題ですので、防災無線に加えて、様々な方法で外国人の方に確実に情報をお届けする方法についても、しっかりと検討していきたいと思っています。

②「住みよい施設がある街づくり」グループ

- ◇子どもからお年寄りまでが、楽しみながら、自然や環境を考えられるバリアフリーな海辺の複合施設を造ることを提案します。



- 千葉市は、都市の便利さと自然の豊かさを一緒に感じることができる街であり、この二つを磨いていくことを街づくりの大きな柱にしています。今回のご提案は、海辺に注目をして、都市の中にあるビーチや海辺をより楽しめるご提案ですし、また環境を維持していくことで千葉市の自然環境を将来に受け継いでいくということも含まれていたと思います。稲毛海浜公園で進めているリニューアルでは、海へ延びるウッドデッキの整備をしています。ここは、障害のある人もない人も一緒に過ごせる場所づくりを目指してしまして、ウッドデッキの上で散歩、カフェ、音楽ライブなど、多くの方にいつもとは違う体験を楽しめる場所になると考えています。提案については、本当によく調べていて、これからの社会に必要なことをしっかりと提案していただいたと思います。環境を維持して、環境の豊かな千葉市を将来に受け継いでいくために、大変興味深いアイデアだと思いますので、今後の取組の参考にしていきたいと思っています。

③「きれいな街づくり」グループ

- ◇毎月、清掃活動の日を設定し、地域住民が楽しみながらゴミ拾いや草取りができるような取組を提案します。
- ◇「きれいな街千葉市」の実現に向けて、子どもから大人まで関心をもってもらうためのPR活動をするを提案します。



○市民の皆さんに参加していただくためのきっかけづくりは、とても大切なことだと思います。清掃活動を実施していくためには、地域の特徴や住んでいる方についての実態を踏まえて、どのようなごみ拾いイベントが効果的なかを考えていく必要があります。また、きれいな街づくりの活動を広げていくためには、様々な年代の方により多く参加していただけるように工夫することも大切だと思います。皆さんのご提案を参考にしながら、地域活動が活発な、そして美しい、きれいな街づくりに向けて市役所としても取り組んでいきたいと思ひます。皆さんの熱心な活動が、街をきれいにする活動に参加する人を増やすことにもつながると思ひますので、ぜひ一緒に活動していただけるとありがたいです。

④「ボイ捨てN oの街づくり」グループ

- ◇千葉市で月に1日「ごみ拾いの日」を設けることを提案します。
- ◇「路上喫煙等・ボイ捨て防止条例」のPR、海岸のごみ拾い、海の環境学習会、海岸アート大会等を実施するなど、「ごみ拾いの日」を広く知ってもらうためのビーチクリーンイベントの開催を提案します。



- 千葉市では、5月30日を「ゴミゼロ」の日として、「美しい街づくりの日」と定めています。しかし、全市的には定着していない現状なので、市民の皆様がごみの問題に関心をもち、街をきれいにしようという意識をもつきっかけにしていくことが大切だと思います。そのきっかけとして月一回「ごみ拾いの日」を設けるということや千葉市のポイントをつけて活動していただくということも一つの方法であると思ひますので、検討したいと思ひます。
- 海洋プラスチックごみが問題になっていますが、千葉市の海辺にもゴミが流れついており、重要な課題だと思います。ビーチクリーンの活動は、ゴミを拾うことを通じて海辺の現状や海の環境について考える機会になると思ひます。サンドアートの大会や集めた貝殻で作るアクセサリーのワークショップの提案は、大変興味深いアイデアであり、イベントと組み合わせることで、新しい参加者も増えてくると思ひます。地域の方々と市役所が一緒になって取り組むことで、活動の輪を広げたいと考えています。皆さんもぜひ一緒に活動に参加をしていただければと思ひます。

⑤「人と人がつながる街づくり」グループ

- ◇「千葉でつながる」 子ども向け情報発信サイトの立ち上げを提案します。



- 子ども向けの情報発信サイトにつきましては、教育委員会の図書館や市議会それぞれ子ども向けのページを公開していますが、市役所全体としてのページがないというのはご指摘の通りです。みなさんに知ってもらいたいことを探しやすくする工夫をしながら、千葉市のことに関心をもちていただけるように、具体的に検討したいと思ひます。アイコンを募集するという提案については、大変効果的だと思いますので、皆さんが楽しく利用できるページにするためにアイデアをどう具体化すればよいか検討したいと思ひます。また、オンラインで人と人がつながることで、コミュニケーションの輪が広がる、そういった利点もご指摘いただきました。千葉市では、市の公式アカウントのほか、観光のPRや動物公園などで、ソーシャルメディアを活用しています。提案していただいたことを参考にして、多くの方と双方向で対話できるテーマを考えていきたいと思ひます。

⑥「歴史と文化を大切にしたい街づくり」グループ

- ◇動画共有サイトを使って、歴史や文化についていろいろな立場や視点から発信することで、魅力を伝える取組を提案します。
- ◇史跡や魅力的な場所を循環バスでつなぎ、街を活性化させる取組を提案します。



- コロナの感染の拡大によって新しい生活スタイルが始まっている中で、動画共有サイトやSNSで情報を発信していくということは、これからの千葉市の発展のためにも大変良い提案だと思います。千葉市はこれまで歴史や文化について、すでに情報はいろいろな面で発信をさせていただいていますが、ホームページ上で見つけづらいという課題がありますので、先程の子ども向けのサイトの中に含めていくことも考えて、皆さんに広く見ていただいて、保護者、そして皆さんの友達にお知らせしていただけるように検討していきたいと思ひます。
- 千葉市内には観光施設や魅力的な文化史跡も様々ありますが、まだ知られていないものもたくさんあります。そういうものをつなげて、効率的に回れるコースを作っていくというのは、市民の皆さんはもちろん、市外から訪れる人に対しても大変有意義で有効な取組ではないかと思ひます。観光というのは、市内の様々な場所の他に、市民の皆様様の様々な活動を組み合わせることで、非常に面白いものになっていくと思ひます。市役所の関係課で連携して進めていきたいと思ひます。

⑦「安全・安心な街づくり」グループ

- ◇幅広い世代の人たちが交流できる場の設定や放置されている空き家の交流場所としての活用を提案します。
- ◇「ちばチャリストイル」や交通安全に関する情報を多くの人たちに周知するための広報活動や道路の改修等を提案します。



- 地域の方が顔の見える関係を作り、交流を深めるということは、安全・安心で、暮らしやすい街づくりのためにとても大切なことだと考えています。空き家を地域で活用していくということは、非常に有意義なことだと考えております。千葉市では空き家の所有者向けに、活用事例をご紹介したり、空き家を地域で使いたいという人と空き家の持ち主をマッチングしたりする仕組みもっています。また、「子ども交流館」や市内に12か所(※R3.7.21現在)に「どこでもこどもカフェ」があります。こういった施設で皆さんが「こういうことをやりたい」というアイデアを出して相談していただければ、施設を使って自由に活動ができる仕組みがありますので、実現に向けて自分たちでもぜひ、取組を進めていただければと思ひます。
- 千葉市は自然が豊かで地形が平らですので、自転車を楽しむやすい、親しむやすい地形です。そういった、千葉市らしい生活スタイルとして「ちばチャリストイル」の実現に取り組んでいます。この「ちばチャリストイル」を多くの方々に広げていくため、今回皆さんから、千葉城にきた方にステッカーなどの記念品をお渡しするというご提案をいただきました。「ちばチャリストイル」の周知だけではなくて、千葉市が取り組んでいる市制100周年ですとか、危険個所のSNSによる投稿を組み合わせ、多くの人に参加したいと思わせるような大変素晴らしいアイデアだと思いますので、具体的な取組を考えていきたいと思ひます。

6 神谷市長の講評

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のために様々な制約がある中での準備だったと思ひます。例年と比べて学習会の回数も少なく、オンラインでの開催が中心でした。第1回目の学習会については、私もオンラインで参加させていただきました。その際にも災害対応ですとか皆さんの非常に高い意識をうかがい知ることができましたし、今日の質問を伺いますと、学習会を経てさらに千葉市に対する関心や思いを深めていただいたと感じておりまして、大変うれしく思ひます。

市制100周年の年は、これまでの千葉市の歴史を振り返り、これからの10年100年の千葉市を展望する年にしたいと考えています。まさに皆さんには、千葉市のこれまでとこれからを考えていただいたと思ひておりまして、大変感謝しております。皆さんのご提案は我々が気付かなかった点をご指摘いただきました。どういうことが具体的に実現できるのか、担当部署としっかりと検討させていただきたいと思ひます。本当に素晴らしい提案をありがとうございました。千葉市の未来を担っていくのは、皆さん方です。千葉市の取組について引き続き注目をしていただきたいと思ひますし、参加していただいた皆さんのご活躍を大いに期待しています。

それから中学生の皆さんには、ファシリテータとして学習会の進行や子ども議会の運営を務めていただきました。円滑な運営ができたのも皆さんのおかげです。

結びになりますけれども、今年度は感染防止対策のために保護者の皆様の入場を遠慮いただきました。せっかくのお子様の発表の機会を直接ご覧になることができずに大変申し訳なく思ひております。これからも千葉市の発展のため、教育行政に対しましてぜひともご理解とご協力いただきたいと思ひております。ありがとうございました。

7 子ども議会議員の声から ※一部を抜粋しています

子ども議会を通して、千葉市は子どもの声にも耳を傾けてくださり、よりよい市をつくることにとても積極的であることを学びました。

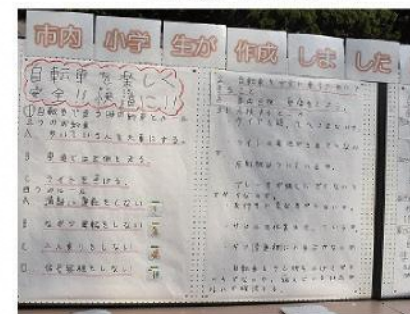
他のグループの発表を聞いて、千葉市をよりよくする様々な考えがあることを知りました。これからは自分でできることを進んで行いたいと思ひました。

子ども議会で一生懸命考えた提案や千葉市のよい取組を、これからももっと多くの人に知ってもらうため、千葉市について勉強したいと思ひました。

これからは市政に目を向け、学んだことを今後の学校生活に生かしていきます。また、自分にできることを友達や地域に広げ、千葉市民として参加していくことを誓います。

8 提案の実現！！

イベント:「みんなで自転車に乗って千葉城へ行こう！」



＜千葉城(郷土博物館)でのイベントの様子＞

子ども議会で提案した「みんなで自転車に乗って千葉城へ行こう！」というイベントが開催されました。提案したグループの子ども議会議員や市内小学生が事前に参加したワークショップでは、イベントで使用する「ちばチャリストイル」の資料や、説明用の動画を作成し、来場者に子どもたちの視点で「ちばチャリストイル」や交通安全についてPRしました。